

## 中核市サミットいわき宣言

中核市は、平成8年の制度創設以来、社会情勢の変化に対応しながら、地域の中核的都市として、地方分権の推進と地域の発展に向けて大きな役割を果たしてきました。

今後、我が国は人口減少・少子高齢化の一層の進行が見込まれておりますが、この流れに歯止めをかけ、誰もが活躍できる社会の実現に向け、私たち中核市は市民をはじめ地域、企業、各種団体、行政等様々な主体が全員で持てる力を最大限発揮し、地方から日本の活力を生み出していく必要があります。

このような考えのもと、本サミットでは、「共に創る未来へ ～中核市から切り拓く“この国のかたち”～」をテーマに、地方創生の「まち・ひと・しごと」の各分野において、「地域防災」、「女性活躍」、「観光産業」を切り口に協議を行い、次のとおり、中核市47市が連携し、課題解決に向けて取り組むことといたしました。

- 1 中核市は、地域における防災力をより一層高めるため、基盤となる地域コミュニティと地域の多様な主体との有効な連携を構築するとともに、子どもたちの個性を尊重し、地域社会の一員として成長していく過程で、次世代に対する豊富な防災教育を行うことにより、持続可能な安全・安心な社会づくりに寄与することを推進します。
- 2 中核市は、女性の就労継続をサポートし、女性が活躍できる社会を構築するため、自らが先頭に立って働き方を改革し、女性の就労支援に関する取組を進めることにより、近隣市町村や企業等へ波及させていくことを推進します。
- 3 中核市は、地域の活力を生み出していく観光産業を作り上げるため、地域資源を磨きあげ、魅力的な観光資源として売り出す取組や、観光による地域内での消費額が拡大するよう、地域の多様な主体が一体となった新たな体制作りを推進します。

私たち中核市は、これらの取組の推進を通して、地域の核となる中核市から人口減少・少子高齢化を克服し、誰もが活躍できる我が国を形づくるため、ともに連携協力し、切磋琢磨し合いながら、全国に広めていくことを、ここに宣言します。

平成28年10月27日  
中核市市長一同